

環境水道委員会 行政視察（視察先案）

	視察項目	視察先	視察内容
1	防災環境都市・仙台の取組	仙台市	同市では、将来の災害や気候変動リスクなどの脅威にも備えた「しなやかで強靱な都市」に向けた「防災環境都市づくり」を進めている。「杜の都・仙台」の豊かな環境を基本としながら、市民の生活、経済活動の安全・安心や快適性が高い水準で保たれている都市をつくるとしており、本市の災害対応力の向上やライフラインの強靱化に向けた取組の参考にする。
2	水素社会の実現に向けた川崎水素戦略の推進	川崎市	同市では、「水素社会の実現に向けた川崎水素戦略」に基づき、水素エネルギーの積極的な導入と利活用による未来型環境・産業都市の実現を目指した取組を推進している。水素サプライチェーン構築実証事業（NEDO助成事業）は、海外から輸入した水素を活用して発電する世界初の取組を民間事業者と連携して行っていることから、本市の参考とする。
3	福島水素エネルギー研究フィールド	福島県 浪江町	同町では、棚塩地区に造成中の棚塩産業団地において、世界最大級の水素製造能力を有する福島水素エネルギー研究フィールドが昨年3月に開所された。現地での1日当たりの水素製造能力は、約150世帯の1か月分の電力に相当し、東京2020オリンピック聖火リレーのトーチの燃料や道の駅での活用など、エネルギーの地産地消を目指して取り組んでいることから、本市の参考とする。
4	先駆的な水素エネルギー利用技術開発事業の推進	神戸市	同市では、「水素スマートシティ神戸構想」として、公民連携のもと水素エネルギーの利活用拡大のためさまざまな取組を推進している。未利用褐炭由来水素大規模海上輸送サプライチェーン構築実証事業（NEDO助成事業）は、液化水素を海上輸送し、日本で荷揚・貯蔵を行うシステムの構築を目指す世界でも例のない先駆的なプロジェクトで、民間事業者と連携して取り組んでおり、本市の参考とする。
5	E Vを活用した地域エネルギーマネジメントモデル事業	神奈川県 小田原市	同市では、E Vに特化したカーシェアリングを行うとともに、E Vを「動く蓄電池」と捉え、再生可能エネルギーで充電するE Vのカーシェアリングを中心とした地域エネルギーマネジメント事業を実施している。 脱炭素社会の実現に向け、蓄電システム先進都市の構築を目指す本市の参考とする。

	視察項目	視察先	視察内容
6	ウーブン・シティの取組	ウーブン・プラネット・ホールディングス株式会社 (東京都中央区)	トヨタが静岡県裾野市で開発を進めるウーブン・シティは、ロボット・AI・自動運転などといった先端技術の人々の生活環境の中に導入・検証できる実験都市を新たに作り上げることを目的としており、今年2月に着工したところである。さらに、今年5月にはENEOSと連携し、水素エネルギー利活用の具体的な検討を始めたところである。 環境と経済の好循環を実現するゼロカーボンシティを目指す本市の参考とする。
7	名古屋大学減災連携研究センター	名古屋市	名古屋大学の減災連携研究センターは、「東海」「東南海」「南海」の3連動地震などによる巨大災害や近年頻発している風水害に対して、産官学民の地域密着型の様々な連携により、それら被害を軽減していくための戦略について、研究、人材育成などを通じて構築していくことを目指している。本市における危機管理の取組の参考とする。
8	亀岡市におけるプラスチックごみ削減の取組	京都府 亀岡市	同市では、平成30年に市議会と共同で「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」を行い、2030年までに使い捨てプラスチックごみゼロの町を目指す取組を行っている。 本市でも現計画に掲げる目標を前倒しで達成しているものの、さらにごみの削減や分別を進めるため、今後の取組の参考とする。
9	秋田県における風力発電事業	秋田県	日本一の風力発電導入量を誇る同県は、国内初となる大規模洋上風力発電所の翌年末の運転開始に向けた整備が進められている。今後本市が導入を進めるに当たり、洋上及び陸上でのメリット及びデメリット、地元住民とのトラブル等の課題を伺い、参考とする。
10	五島市における風力発電事業	長崎県 五島市	同市は、環境省事業により日本初となる商用規模の浮体式洋上風力発電施設が杵島沖に設置され、実証実験が行われた。これまでの研究の成果を伺い、本市の今後の参考とする。